

外国特許トピックス

2022年1月
特許業務法人志賀国際特許事務所
(外国事務部 加藤基志)

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
外国特許出願に関し、最近のトピックス等をお知らせいたします。

2019年度のインド特許出願統計

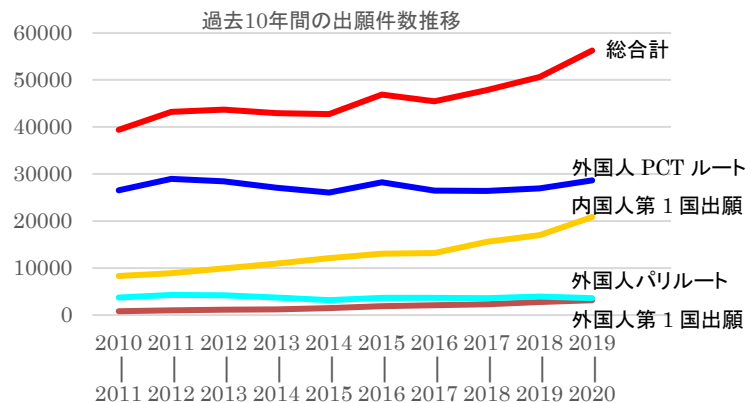
インド特許庁より公表されている2019年4月1日から2020年3月31日までの1年間におけるインド特許出願統計(最新版年報)に基づき、インド特許出願の概況について紹介いたします。

1. 出願件数

2019年-2020年のインド特許出願総件数は56,267件(前年比11.1%増)でした。内訳は以下のとおりです。

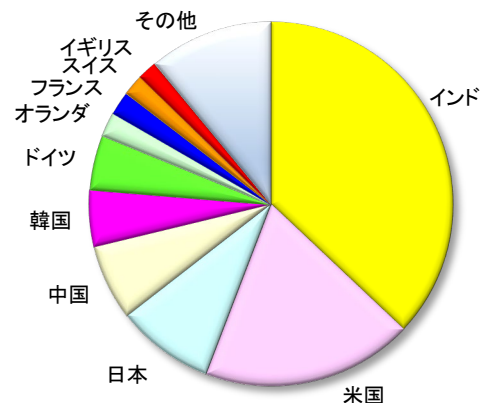
		2019-2020	前年比
内国人		20,843	+22.6%
外国人	第1国出願	3,156	+13.6%
	パリルート	3,588	-8.3%
	PCTルート	28,680	+6.4%
	合計	35,424	+5.3%
総合計		56,267	+11.1%

総合計の前年比増加率が二桁台というのは10年ぶりです。外国人による第1国出願件数も依然増加傾向です。技術分野別では、コンピュータ、医薬品、およびバイオメディカルが前年に比べて大きく伸びました。



2. 上位出願国(10ヶ国)

順位	国名	2019-2020	前年比(%)	全体占有率
1	インド	20,843	+22.6%	37.0%
2	米国	10,564	+6.1%	18.8%
3	日本	4,908	+4.5%	8.7%
4	中国	3,788	+22.9%	6.7%
5	韓国	2,809	+16.7%	5.0%
6	ドイツ	2,700	-0.1%	4.8%
7	オランダ	1,252	+10.8%	2.2%
8	フランス	1,176	-3.1%	2.1%
9	スイス	1,072	-19.4%	1.9%
10	イギリス	959	-12.6%	1.7%
-	その他	6,196	+2.7%	11.1%
	合計	56,267	+11.1%	100.0%



内国人出願件数は順調な伸びを見せています。前年比22.6%増は過去10年で最大です。外国からの出願件数は、前年比増加率において上位国では中国がトップでした。在外国出願人上位10社の中にHUAWEI(1,448件/1位)、OPPO(779件/4位)、ALIBABA(352件/8位)と技術分野別で出願件数が伸びている通信系の中国企業が並んでいるため、今より順位を上げるのは時間の問題です。韓国はドイツを抜いて5位になりました。韓国企業SAMSUNG(1,300/3位)の伸びも堅調で、この先中国を追従していくものと思われます。

3. 審査および登録件数

2019年-2020年の審査件数(Office Action発行件数)は80,080件(前年比6.3%減)、登録件数は24,936件(前年比63.2%増)でした。審査件数が減った理由に関し、インド特許庁は①新規審査官181名がCOVID-19のパンデミックにより上半期に審査業務を行うことができなかったことを挙げています。

■続報/2021年9月外国特許トピックス【情報更新2021年版】特許証原本の扱い

米国特許庁は2022年に特許証を電子データで発行することを発表しました。現時点で特許証はリボン付きの紙で当該案件の申請記録の連絡先住所に郵送されています(※)。今後、電子データは米国特許庁ホームページ(PAIR)において発行されます。特許権者はPAIRを介して特許証をダウンロードすることができます。特許証の電子発行は、米国特許番号が付与されてから1週間以内に行われます。これにより、従来の特許証発行までの期間が約2週間短縮されると見込まれます。電子データに移行後も米国特許商標庁にUS\$25を納付して紙で発行してもらうこともできます。※弊所が米国代理人から受け取った直近の特許証には発行日が2021年のものがあり、これらは紙が郵送で届いています。現時点では紙と電子データとが混在して届く状況です。

以上